

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成29年度 (2年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	八千代市												
計画の目標	汚水管渠整備を推進することにより、快適で衛生的な生活環境を創造し、水質保全に寄与する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	268	A	268	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道処理人口普及率を91.7%(H28当初)から92.3%(H32末)に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	92%	92%	92%
	下水道を利用できる人口(人)/行政人口(人)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	八千代市	直接	八千代市	管渠(汚水)	新設	吉橋汚水幹線枝線整備(未普及対策)	管渠整備 L=1,385.6m	八千代市						268	-	
											小計						268		
											合計						268		

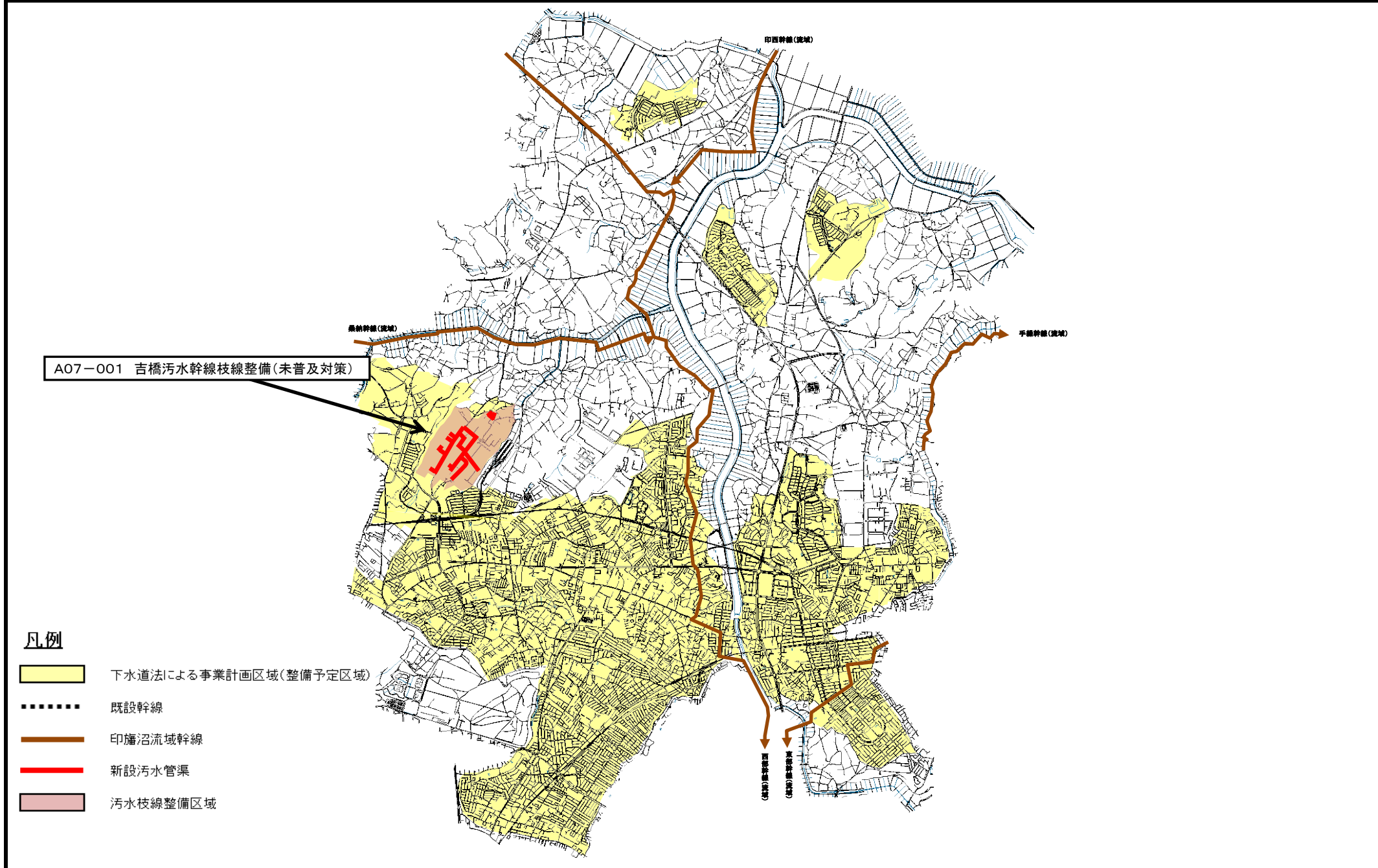
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29			
配分額 (a)	67	53			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	67	53			
前年度からの繰越額 (d)	90	67			
支払済額 (e)	90	67			
翌年度繰越額 (f)	67	53			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画

計画の名称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進		
計画の期間	平成28年度～平成29年度（2年間）	交付対象	八千代市



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業)

計画の名称:八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進

事業主体名:八千代市

チェック欄

I. 目標の妥当性

①上位計画等との整合性

○

印旛沼流域下水道事業計画等との整合が図られている。

②地域の課題への対応

○

地域の課題を踏まえた目標が設定されている。

II. 整備計画の効果・効率性

①整備計画の目標と定量的指標の整合性

○

「計画の目標」に合致した「計画の成果目標(定量的指標)」が設定されている。

②定量的指標の明瞭性

○

指標が市民にとって分かりやすいものとなっている。

③目標と事業内容の整合性

○

「計画の目標」を達成するために適切な事業が計画されている。

④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性

○

事業の実施により、河川等の水質改善・下水道普及率の向上が見込まれる。

III. 計画の実現可能性

①円滑な事業執行の可能性

(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)

○

事業着手当初に地元住民への説明会を実施するなど、事業実施に向けた環境整備を図っている。

②地元の機運

(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)

○

下水道整備に向けた要望がある。